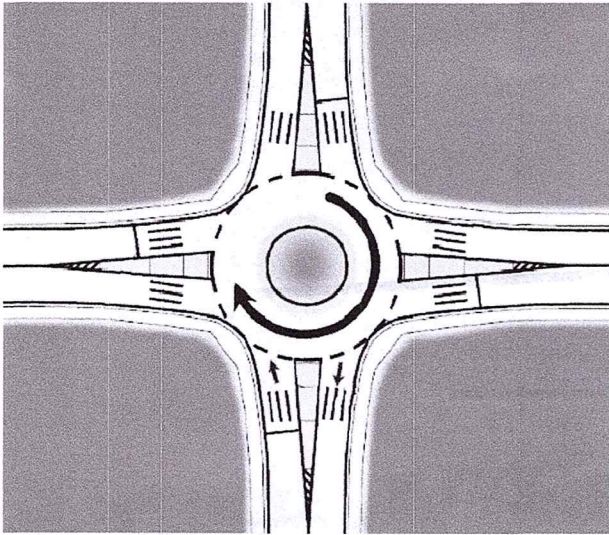


大手広場にラウンドアバウト交差点はどうか



信号がない

『ラウンドアバウト交差点』は信号のない交差点。真ん中のドーナツが優先道路の時計回り。

ドーナツに入る車は、歩行者と、右方向から（優先道路を）来る車にだけ気を付けて左折で進入。自分の好きな方角に出られます。ドーナツを出るときは歩行者のみ注意。

従来、右方向に行くには右折していたわけですが、対向車や歩行者巻き込みを気にしなければなりません。ラウンドアバウトの場合はドーナツを時計回りに4分の3回転で出ていくこととなります。直進は、ドーナツ半周です。

信号機が要らないので信号の維持費も不要だし、何よりも災害（停電）に強い。

ストレスがない

目の前は十分空いているのに、赤信号というだけで進入できないストレスが無くなるのが大きい。ヨーロッパではかなり普及しています。

で、東北の震災以降、国はラウンドアバウトの普及を奨めているという訳です。道路交通法も改正され、街なかにラウンドアバウト交差点の標識も見られるようになりました。

安全

現状の大手広場はきれいな十字路交差点ではなく分かりにくいので事故が多発しています。

全体交通量が少ない割に信号ローテーションが長く、イライラの原因にもなっています。

交通量が多い場合は信号が必要ですが、大手広場程度の交通量ならラウンドアバウトが可能です。変則な交差点形状なのでむしろ安全上も有効、用地取得の新たな出費もない。条件がそろっています。

長崎県では初の取り組みということで、前例の無いことに尻込みさえしなければむしろ先進事例として注目される実現性の高い方法です。

市は、早い時期からラウンドアバウト交差点の長所を認識していて、すでに長野県飯田市だけでなく全国の先進事例を多く検証してきました。

庁舎建て替えを機に大手広場に導入してはいかがだろうか。

次ページに before・after で試案を紹介します（3月議会で提案）。ドライバーになったつもりで道順をたどってみてください。

